

社会福祉法人 光と緑の園

光と緑の園乳児院



乳児院とは

さまざまな理由で家庭で暮らすことのできない乳幼児を、家庭に代わって養育する児童福祉施設です。

生まれたての赤ちゃんから、小学校入学前のお子さんをお預かりして養育します。

社会的養護は、

「子どもの最善の利益のために」と

「社会全体で子どもを育む」

を理念としています。



乳児院の基本理念

生理的に脆弱なので、身体発育や健康に十分配慮

心身の発育、発達が著しく、一人ひとりの発育・発達を見極め適切な養育

発達課題として、運動機能や言語の発達、食行動の発達とともに、特定の人との関係に愛着を形成することが重要

養育環境としてふさわしいのは家庭なので、家庭復帰の可能性を考慮し取り組む。困難な場合には里親委託などを検討する

自ら権利を主張できないので、組織をあげて子どもの権利擁護に努める

乳児院養育の原則

1. 担当養育制

- ・受け持つ子どもを決めて、できるだけその子とのかかわりを多くし、愛着の形成を目指す
- ・交代勤務なので、同じグループにサブ担当を設けるなどの工夫

2. 育ちの保障 愛着形成＋豊かな生活の保障

- ・安全で使いやすい手入れの行き届いた遊具
- ・満足できる遊びの時間
- ・自然と触れ合える外遊び
- ・栄養だけでなく季節感を取入れた食事
- ・日課に基づきながらも個々に応じ柔軟に遂行される日々の営み
- ・他と区別された自分のもの

3. 地域支援

- ・児童福祉法第48条の2により、施設の所在する地域の住民に対して、その行う児童の保護に支障がない限りにおいて、児童の養育に関する相談に応じ、助言を行うよう努めなければならない。

施設沿革

- 昭和25年7月1日 佐世保市上町74番地に長崎県立佐世保乳児院(定員30人)として開設。経営は恩賜財団長崎県同胞援護会に委託された。
- 昭和43年10月1日大村市に新築移転。定員を40人とし、経営は、社会福祉法人長崎県社会福祉事業団に委託された。
- 平成18年4月1日社会福祉法人光と緑の園の経営となる。
- 平成22年3月31日敷地内で全面改築、小規模ユニットケア実施



“子どもがまんなか 家族を支えるみんなの輪”

法人理念

私たちは、一体となり子どもと家族を尊敬し、
子どもの最善の利益を尊重しながら、
関係機関や地域の皆さまと和して輪になって、
子どもの育ちと家族の子育てを支えます。



養育の視点

- 子ども一人ひとりが権利の主体であることを、しっかり受けとめ日々の養育にあたる。
- 子どもの最善の利益を考慮して養育にあたる。その最善の利益は、現在の子どもにとってだけでなく、将来の自立を見据えたものであること。
- 子どもと同じ高さの目線を持ちながら、子どもが自立することを目標に指導する立場であるという専門職の視点を忘れないこと。

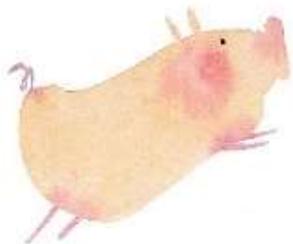
目指す職員像

- 共感する職員
- 自分を愛し、周りの人を尊敬できる職員
- 謙虚に学ぶ職員
- 主体的に働き、誇りある職員
- 思いやりを持ち助け合う職員



育てる子ども像

- 自分たちは愛されて育ったという自信のある子ども
- 親も大変な中で自分を生んでくれたという共感力のある子ども
- 今在ることへ感謝の気持ちをもつ子ども
- 自分の人生を幸せへ向け切り拓く勇気を持つ子ども
- ここ光と緑の園で育つことに誇りをもつ子ども





基本方針

子ども一人ひとりを大切に。

子どもの最善の利益を求めて、一人ひとりが、自ら幸せに輝く養育を目指します。

光と緑の園乳児院は、児童福祉法第1条の理念にそって、家庭での養育が困難な乳児及び幼児を入所させて、保護者に代わって養育する児童福祉施設です。

温かく家庭的な養育を目指し、一人ひとりの生きる力を育みます。

地域の子育て支援

○地域に開かれた乳児院として、市から委託を受けて子育て支援短期利用事業や法人独自の私的預かり事業を実施しています。

令和元年度「子育て支援短期利用事業(市町村窓口)」受入状況

区分 性別	短期入所生活援助事業 (ショートステイ)		夜間養護等事業 (トワイライトステイ)	
	男児	女児	男児	女児
9市町	4人20日	2人 6日	0人	0人

令和元年度 私的一時預かり受入状況

利用人員	利用延日数
4人	8日

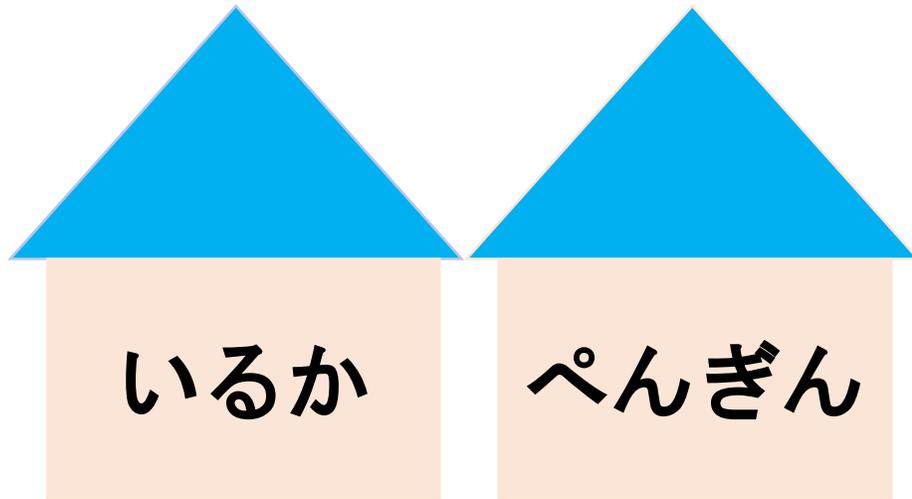
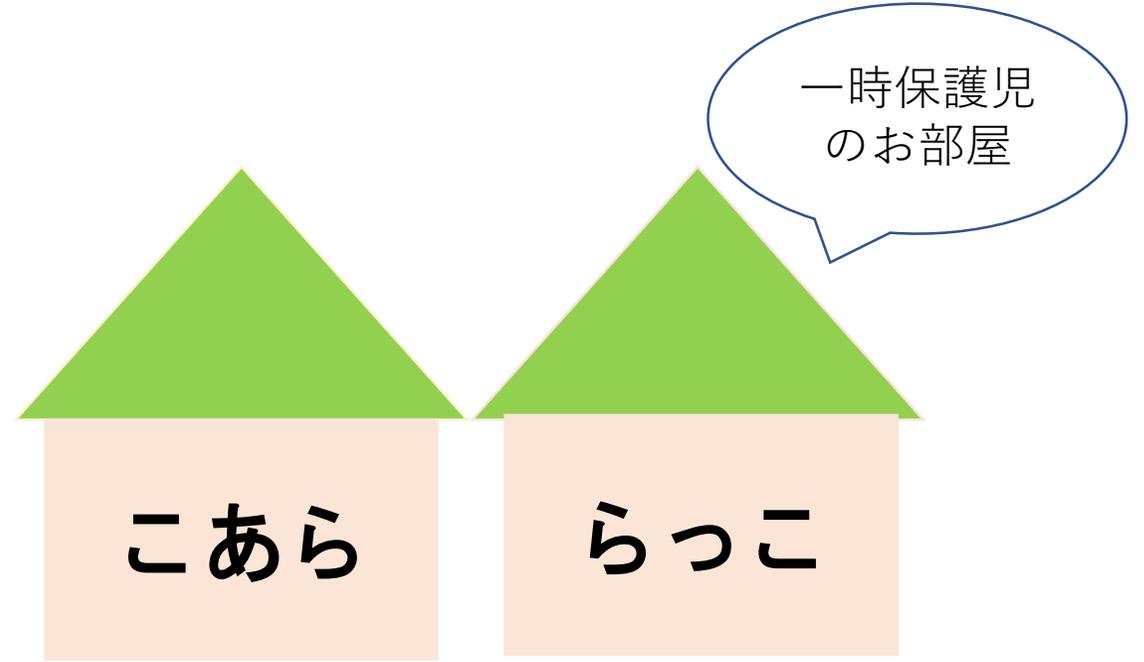
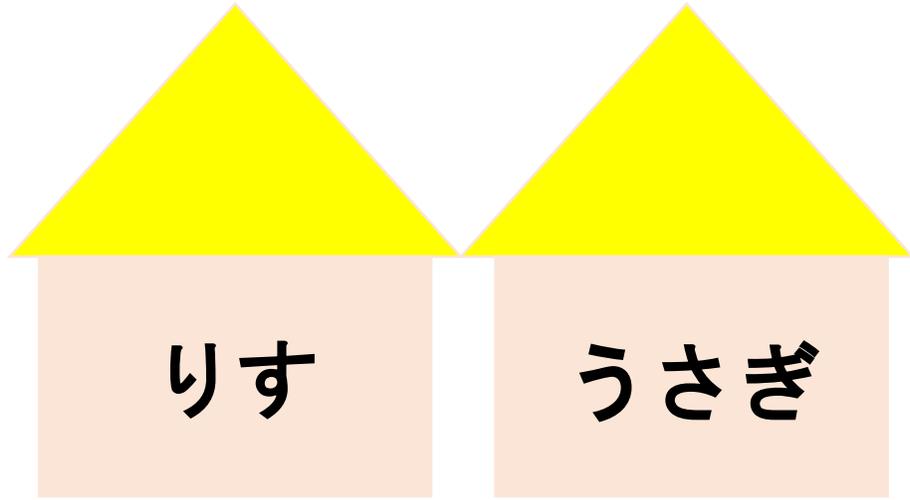


長崎県里親育成センター「すくすく」

長崎県から委託を受け、里親制度の広報啓発や里親研修等を行っています。

- 法定研修
- 県独自研修
- 里親出前講座
- 相談
- 広報活動





光と緑の園 乳児院では
6つのお家（ユニット）があります。

2つのユニットの間に職員室があり、
繋がっていて行き来できます。

1ユニットの定員は、6名です。

ユニット	子ども	保育士	看護師
りす	5	5	1
うさぎ	4	2	2
こあら	5	5	1
らっこ (一保)	(4)	4	1
いるか	5	6	0
ぺんぎん	5	4	1
計	24+(4)	26	6

職員は、この他に、院長、副院長、主任兼家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、家庭支援専門相談員、非常勤心理士、栄養士、調理員4、嘱託保育士1、夜勤専従3、育休保育士3、育休看護師1、事務員2、すくすく職員3 業務員2 計58名

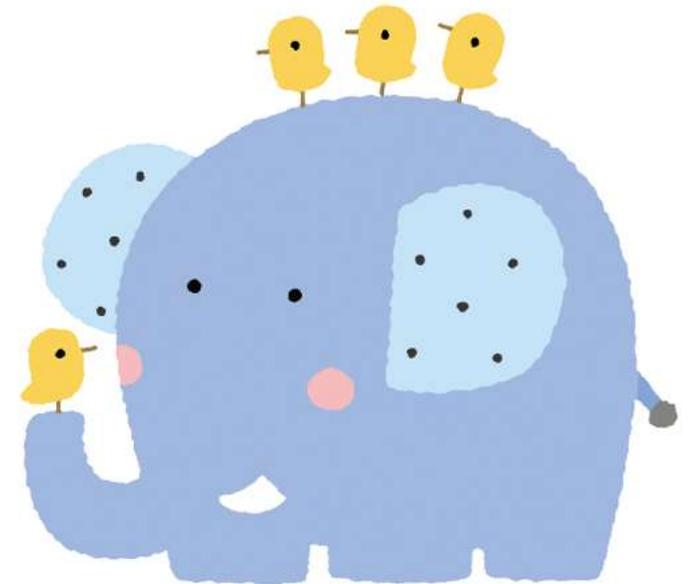
保育士

こどもたちと一緒にご飯を食べたりお風呂に入ったり、添い寝をしたり、遊んだり、お出掛けをしたり、病気の際は病院に連れて行ったり、看病をしたり、一緒に過ごす中で命を守り育むこと、生きる力を育み、担当したこどもに寄り添い家庭的な養育に努めます。
また、児童相談所等関係機関、各専門職と連携し、保護者や里親への支援を行っています。



家庭支援専門 相談員

家族の再統合を目指して、保護者に対して保育士、看護師、栄養士、心理士と連携して養育相談や育児指導を行います。また、要保護児童の状況の把握や情報交換の為、要保護児童対策地域協議会へ参加し、児童相談所等関係機関との窓口となり情報交換を密に行います。日々、保護者の意向や意見を聞きながら援助を行っています。また、こどもの成長や様子を保護者に伝え喜びを分かち合うことも親子関係再構築に繋がる家庭支援専門相談員の役割のひとつです。



里親支援専門 相談員

毎年、乳児院から里親家庭へ児童相談所が措置変更し委託をしています。委託前の里親交流では、里親さんへ養育を繋ぐため専門職として育児指導を行い、その中で里親さんとこどもの関係性を深めてもらっています。また、里親さんが困った時は話を聞き、里親さんと一緒にこどもの養育に力を尽くしています。里親さん同士が交流する里親サロンも企画実施をしています。

また、県から委託を受けて運営している里親育成センターすくすくが実施する里親研修、勉強会、里親出前講座等の事業に全面的に関わっています。



こどもたちのお家 紹介



6つのお部屋の作りは同じですが
家具の種類や配置が違っていたり
ユニット毎に雰囲気も異なります



ほふく室 キッチン



食事の時に椅子や机を出して食事をしたり、お絵描きやパズル遊びなどをして遊んだりしています。

観察室

子ども達それぞれのオモチャが個別に収納しており、それぞれ自分のオモチャを出して遊んだり、お友達とオモチャを貸し借りしながら遊んでいます。



寝室

お昼寝や就寝時間になると、個別の布団を敷いて寝ています。寝る時間以外はここで遊んだりもしています。寝具だけでなく、ダンス・洋服も子ども達一人ひとり個別に用意されています。

トイレ お風呂



トイレとお風呂は各ユニット
それぞれにあります。



中庭・園庭



ユニットのテラス側のお庭と、敷地内にある
向陽寮と共有の園庭です。
向陽寮の子ども達も、乳児院の子ども達が
お散歩や遊びに出ると、抱っこや話しかけたり
お世話をしてくれます。



7:00

めざまめ



目覚めた子ども達から、年齢の大きな子どもは自分のダンスから好きな服を選んで着替えます。

7:30

朝食



食事は厨房から用意してもらったご飯を温めなおして食べます。子ども達は職員やお友達とおしゃべりしたり、好きな物はおかわりして食べています。

8:30

幼稚園 登園



3歳児以上は地域の幼稚園に通っています。

9 : 30

おやつ



10:00

あそび



11:30

昼食



12:00

午睡



14:00

めざまめ おやつ



おやつは厨房で手作りのおやつを作ってくれます。
時には、厨房の職員が来て、子ども達と一緒に「にこにこクッキング」を実施！
一緒におやつを作る時間もあります。

14:30

あそび 幼稚園帰院



おやつの後には、自由に遊びます。
また、担当保育者と一緒にお買い物に行きます。コロナが流行する前は、洋服や自分の物を一緒に買いに行ったりしていました。

17:30

夕食

クリスマスやハロウィン、お誕生日会など
季節ごとのイベントやお祝いの時には
手作りの可愛いごちそうが出てきます！
子ども達も大喜びで食事をしています。



18:30

入浴
沐浴



20:00

就寝



入浴後、歯磨きや寝る準備を済ませたら布団に横になります。
寝る前に絵本を読んだり、音楽をかけたり、添い寝をするなどして安心して
入眠できるようにしています。

授乳

乳児の生活リズムはそれぞれです。
個々の時間に合わせて授乳しています。

ここまでの日課は、あくまでも目安です。
子ども達の状況に合わせて、柔軟に対応
しています。



1年の行事

季節ごとに
バスハイク・夏祭り・クリスマス会などを
行います。他にもユニット単位で、お出かけを
したり、子ども達の成長に合わせて、節目の行事も行っ
ています。

※詳しくは、乳児院の年間行事を見てみてください(^U^)*

